LIXIL

NEWSLETTER
つくる、つなぐ、とどける

リクシルをつくる人
vol.1

株式会社LIXILは、世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいを実現するために、
日々の暮らしの課題を解決する
先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と
窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。

このニュースレターでは、
LIXILの高品質な製品の礎となる日本のものづくりに焦点をあて
その取り組みをご紹介いたします。

発行日：2023年10月11日

D&I

D&I アンバサダーが中心となり、誰もが働きやすい職場環境へ キッチンの深谷工場（埼玉県）の事例を紹介

システムキッチンを生産する深谷工場では、19人のD&Iアンバサダーが中心となり、D&Iの社内浸透や、課の垣根を超えた“誰もが働きやすい職場環境”への改善に取り組む。

スローガン策定や工場内のポスター掲示、従業員向け工場見学会でD&Iの浸透を図っている。
また、製造工程では大型の木版や天板などを扱うため、体格差による非効率作業が発生してしまう。部材の取り付けなど身長によって作業しづらい工程もあったが、荷台が低い位置にある台車の導入や床の底上げにより働きやすい環境を作りあげてきた。

LIXILのD&I戦略では、2030年3月期までにLIXIL全体にインクルージョンの文化を定着させ、ジェンダー不均衡を是正することを目標に掲げている。

（写真）
月に1度開く工場長を交えた会議では、各課の困りごとの検討や事務所の刷新や緑化など働きやすい職場環境の提言を行っている。

環境

世界屈指の技術や知見で、アルミリサイクルを推進 アルミ建材を生産する小矢部工場（富山県）の事例を紹介

アルミの鋳造から加工まで一貫生産を行う小矢部工場では、リサイクルアルミ使用比率100%のビレットの量産に成功している。

LIXILでは、環境ビジョン2050の「Zero Carbon and Circular Living（CO_2ゼロと循環型の暮らし）」の実現に向け、「資源の循環利用を促進」している。2031年3月期までにリサイクルアルミの使用比率を100%にすることを目標に掲げている。

当社は25年以上に渡ってアルミリサイクルを推進しており、その分野においては世界屈指の技術や知見を保持。これまでに、業界トップクラスである70%（2022年3月期実績/6063材）のリサイクルアルミ使用比率を実現しているが、今回の量産化成功はその取組みをさらに加速させ、目標達成に大きく寄与するものとなる。

（写真）
アルミ建材の製造工程の様子。
小矢部工場ではビル用サッシを中心に商品展開を行っている。
2023年10月よりリサイクルアルミ使用比率100%の低炭素型アルミ形材「PremiAL R100」を展開開始している。

スマート

自動検査・ノーコードアプリ活用による効率化と人為的ミス削減 タイルの伊賀上野工場（三重県）の事例を紹介

住宅の内装・外装に使用するタイルを製造する、伊賀上野工場ではデジタル技術を導入しながら、デザインや品質保証を向上させている。

デジタル加飾装置で高精細かつ、自然なばらつきを持つ製品をつくり、タイルの外観検査の自動化により、属人的な作業となっている検査のレベルをあわせ、作業負担も解消する取り組みを進めている。

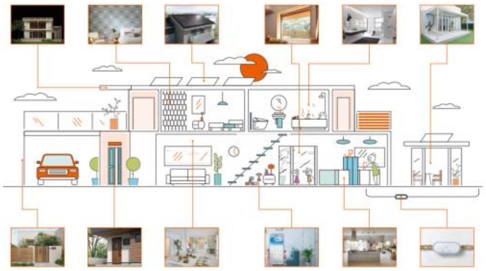
さらに、工場メンバー全員がノーコードに触れる機会を作り、利用者・開発者のすそ野を広げ、業務の効率化を図っている。

LIXILでは、今、従業員一人ひとりが部門の枠を超えて、自らの業務を見直し、創意工夫をしながら、自律的にデジタル化を推進していく「デジタルの民主化」が急速に浸透している。

（写真）
伊賀上野工場で働く山田さんは、予測困難だったタイルに加飾するインクの在庫数を生産予定数などとリンクさせ、適切に管理できるタイルインク残量記録アプリや、目視することなくタンクの残量を管理できるアプリなど、いくつも開発

参考情報

LIIXLは、国内では、北海道から沖縄まで36拠点の工場を展開し、日本中に水まわり製品、建材製品をお届けしています。

●LIXILの生産拠点について
https://www.lixil.co.jp/corporate/recruit/about/workplace/

●「つくる、つなぐ、とどける」について
現場の第一線で事業活動を支えている工場や開発・設計担当者や工事やメンテナンスを担う人びと、ショールームをはじめとした日々お客さまと接する際の大切にしている想いなどを紹介しています。
https://www.lixil.co.jp/corporate/brand/employee/